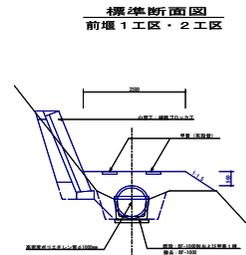


(様式2) 新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営農村地域防災減災事業(水路等の補強)		路河川名等		
事業毎の通番		1	市町村名	飯山市	箇所名(ふりがな)	柳原(やなぎはら)
事業概要	事業目的	柳原地区の用水は、沼池・涌井新池を主な水源としており、涌井用水路から取水した水は延長310mの涌井隧道により分水嶺を超えて一級河川皿川に運ばれ、前堰用水から受益地へ供給されている。柳原地区の用水路は山間地にあり、近年の集中豪雨等により、軽微な土砂崩落等で、水路内に土砂が堆積し溢水することも多く、水路下流側の住民から防災・減災の対策を早急に講じるよう、要望されている。水路の老朽化も進んでいることから、施設改修により地域の安全確保と維持管理の低減を図り、持続可能な農業の実現を目指す。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	土地改良法	
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画ーウ安全で快適な農村環境の確保と防災・減災 第7次長野県土地改良長期計画ー2安全で暮らしやすい農村づくり 飯山市の他の用水系統については、基幹ストマネ事業等により実施予定である。				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	防災受益 A=141.1ha かんがい面積 A=141.1ha				
	着手年度	平成27年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	2.11	国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	前堰用水路整備 L=882m 涌井用水路整備 L=30m 隧道工 L=305m			500,000	275,000 80,000 130,000 15,000
	年度事業内容(主な工種)	測量・設計業務委託 一式			8,000	4,400 1,280 2,000 320
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	災害防止効果 10,272千円(家屋17戸・市道490m)			
		間接的効果(定量的・定性的)	作物生産効果(年便益額)・営農経費節減効果・維持管理費節減効果 75,613千円(水稲) ▲3,292千円(水稲) ▲1,430千円(用水路)			
評価の視点	必要性	幹線水路の主要な部分は、土砂等の侵入防止のため、甲蓋工を有する構造となっているが、十分な機能を発していない箇所もあり、特に曲線区間や頭首工などでは、近年のゲリラ豪雨により発生した小規模な崩落の土砂が水路に流入し、その結果水路の溢水被害が度々発生している。住民の安全確保と用水の安定供給のためにも、水路改修を行う必要がある。			評価	A
	重要性	本地区は、長野県地域防災計画(土砂崩壊危険箇所)にも位置づけられている。			評価	A
	効率性	本地区は、幹線水路のため、被災することによる、農作物の被害や、国道への被害、また人家への被害も想定されることから、費用対効果は2.11となっている。			評価	A
	緊急性	隧道については、既に崩落が起きており、また人家よりの水路においては、過去5年に複数回の溢水が発生している。(被害はなかったが溢水したことがある・・・土のう等で応急対応できた)			評価	B
	計画熟度	すでに、柳原用水改良推進委員会を組織しており、飯山市、土地改良区も、受益者や地域住民に説明会等を実施している。(事業への合意形成は図られている)			評価	A
	部意見	山腹水路で土砂崩落又は山地流域からの流入等により、下位部の農地、人家等に被害をあたえる恐れがあるので、早急に改修する必要がある。	行政改革課意見	受益地は117haに及ぶ重要な幹線水路である。近年、集中豪雨等による土砂崩落、溢水等が発生していることから、必要性、重要性が高い。	評価結果	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



涌井隧道
(坑内崩落)



涌井用水
(自然河川から直接取水)



前堰工区(被災状況)
「溢水による農地災害」

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	現況施設は、昭和40年代に始まった県営ほ場整備事業に旭地区により整備され、その後、維持管理の中で補修等を行いながら現在に至っている。近年、施設の老朽化も進み、維持管理の限度を超えた崩落等が発生しているとともに、受益者も高齢化しているため、山間部の取水点検等による事故を危惧する状況である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	全ての地域で年2回の巡回・草刈・等の共同作業を実施しており、豪雨等の災害の危険がある場合は、事前・事後の点検等を実施している。前堰工区の水路暗渠化と涌井隧道の改修については、山口区、沼の池用水組合から改修要望が出されている。
③事業説明等の経緯	平成25年2月28日柳原用水改良推進委員会を組織し、委員会において農業水利施設の防災計画について基本構想を策定。受益者及び地域住民に基本構想の説明を行い、事業推進について合意を得ている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事のための土地の掘削、立木の伐採は最小限に計画を行う。また、本地区は環境配慮区域となっているため、汚濁水処理に配慮する。工事用機械の振動・騒音については、低騒音・低振動型の重機を使用する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、近年多発している、ゲリラ豪雨による災害の不安を取り除き、地域住民の安全確保を図るとともに、用水の安定供給を行うことで、維持管理の低減により、営農の安定と農作業の合理化による農業生産性の向上を図る。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36度52分02 東経:E 138度20分50